




Dell PowerEdge R220

はじめに

規制モデル: E10S
規制タイプ: E10S003



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2013 Dell Inc. 無断転載を禁じます。

本書に使用されている商標 : Dell™、Dell のロゴ、Dell Boomi™、Dell Precision™、OptiPlex™、Latitude™、PowerEdge™、PowerVault™、PowerConnect™、OpenManage™、EqualLogic™、Compellent™、KACE™、FlexAddress™、Force10™、Venue™ および Vostro™ は Dell Inc. の商標です。Intel®、Pentium®、Xeon®、Core® および Celeron® は米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。AMD® は Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標、AMD Opteron™、AMD Phenom™ および AMD Sempron™ は同社の商標です。Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Internet Explorer®、MS-DOS®、Windows Vista® および Active Directory® は米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Red Hat® および Red Hat® Enterprise Linux® は米国および/またはその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Novell® および SUSE® は米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標です。Oracle® は Oracle Corporation またはその関連会社、もしくはその両者の登録商標です。Citrix®、Xen®、XenServer® および XenMotion® は米国および/またはその他の国における Citrix Systems, Inc. の登録商標または商標です。VMware®、vMotion®、vCenter®、vCenter SRM™ および vSphere® は米国またはその他の国における VMware, Inc. の登録商標または商標です。IBM® は International Business Machines Corporation の登録商標です。

取り付けと設定

⚠ 警告: 次の手順を実行する前に、システムに付属の安全に関する注意事項をお読みください。

ラックシステムの開梱

システムを箱から取り出し、同梱品がすべて揃っていることを確認します。

メモ: PCIe カードを使用するには、PCIe カードライザーを取り付ける必要があります。お使いのシステム構成に PCIe カードライザーが含まれていない場合は、ライザー付きキットを購入する必要があります。

ラックへのレールとシステムの取り付け

レールの組み立てとラックへのシステムの取り付けの際は、システムに付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」およびラックへの取り付け手順に従ってください。

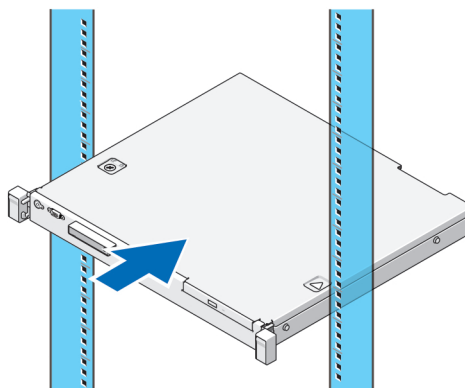


図1. ラックへのレールとシステムの取り付け

オプションのキーボード、マウス、およびモニタの接続

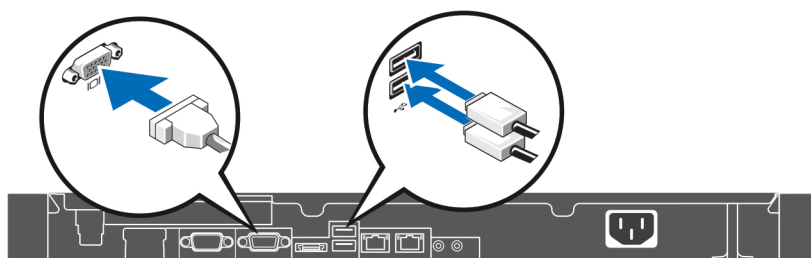


図2. キーボード、マウス、モニターの接続

キーボード、マウス、およびモニタを接続します。

お使いのシステムの背面にあるコネクタには、各コネクタに接続するケーブルの種類を示すアイコンがあります。モニタのケーブルコネクタにネジがある場合は、ネジを締めるようにしてください。

電源ケーブルの接続

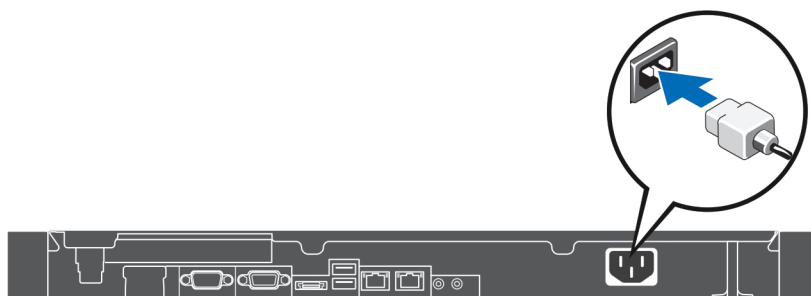


図 3. 電源ケーブルの接続

システムの電源ケーブルをシステムに接続し、モニタを使用する場合は、モニタの電源ケーブルをモニタに接続します。

電源ケーブルの固定

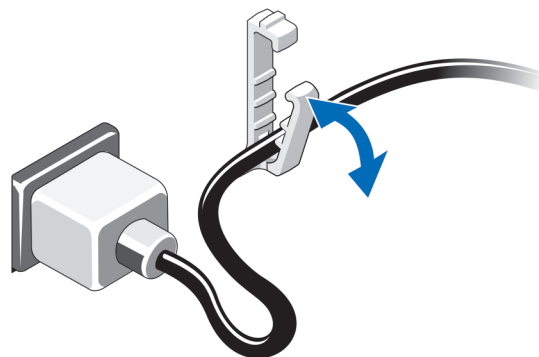


図 4. 電源ケーブルの固定

システムの電源ケーブルを曲げてケーブルを固定クリップ内に固定します。
電源ケーブルのもう一方の端をアースされたコンセント、または無停電電源装置（UPS）または配電装置（PDU）などの個別の電源に接続します。

システムの電源投入

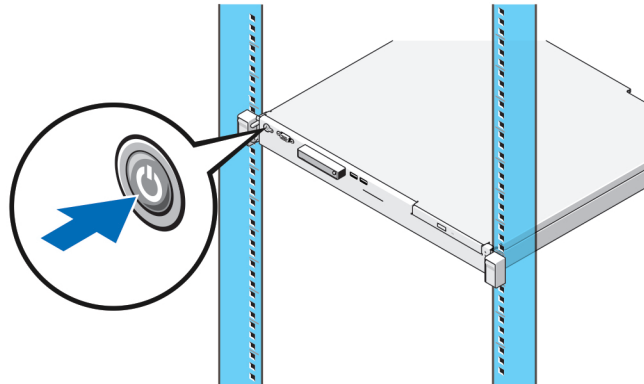


図 5. システムの電源投入

システムの電源ボタンを押します。電源インジケータが点灯します。

ベゼル (オプション) の取り付け

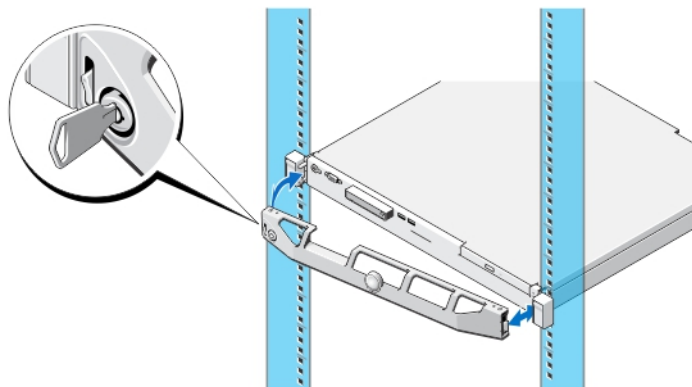



図 6. ベゼル (オプション) の取り付け

ベゼル (オプション) を取り付けます。

オペレーティングシステムのセットアップの完了


オペレーティングシステムが事前インストールされているシステムをご購入の場合は、お使いのシステムに同梱のオペレーティングシステムマニュアルを参照してください。オペレーティングシステムの初回インストールには、お使いのオペレーティングシステム用のインストールおよび設定マニュアルを参照してください。システムとは別途に購入されたハードウェアの取り付け、またはソフトウェアのインストールを行う前に、オペレーティングシステムがインストール済みであることを確認してください。

 **メモ:** 対応オペレーティングシステムについての最新情報は、dell.com/ossupport を参照してください。

Dell ソフトウェア製品ライセンス契約

このシステムをお使いになる前に、システムに付属する Dell ソフトウェア製品ライセンス契約をお読みください。Dell がインストールしたソフトウェアのメディアはすべて、お客様のシステムにインストールされているソフトウェアの「バックアップ」コピーとしてお取り扱いいただく必要があります。同ライセンス契約の条項に同意されない場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。米国のお客様は、**800-WWW-DELL (800-999-3355)** にお電話ください。米国外のお客様の場合は、**dell.com/support** のページ左上から該当の国または地域をお選びください。

関連マニュアル

 **警告:** システムに付属のマニュアルで安全および認可機関に関する情報を参照してください。保証に関する情報は、この文書に含まれている場合と、別の文書として付属する場合があります。

製品のマニュアルには次が含まれます。

『**Owner's Manual**』 (オーナーズマニュアル)

システム機能についての情報を提供し、システムのトラブルシューティング方法、およびシステムコンポーネントの取り付け方や交換方法について説明しています。この文書は **dell.com/poweredge manuals** からオンラインで入手できます。

『**Rack Installation Instructions**』 (ラック取り付け手順)

ラック内へのシステムの取り付け方法が説明されています。この文書は、お使いのラックソリューションに同梱されています。

『**The Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) User's Guide**』 (Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) ユーザーズガイド)

管理対象システムでの iDRAC のインストール、設定、およびメンテナンスについての情報を提供します。この文書は **dell.com/esmmanuals** からオンラインで入手できます。

Quick Resource Locator (QRL)

システムの詳細については、システムカバー内側にあるシステム情報ラベルに記載されている **QRL** をスキャンしてください。



メモ: お使いのモバイルプラットフォームから **QRL** アプリケーションをダウンロードして、モバイルデバイス上でアプリケーションを有効化します。



メモ: アップデートには他の文書の内容を差し替える情報が含まれている場合がよくあることから、**dell.com/support/manuals** でアップデートがないかどうかを常に確認し、最初にお読みください。




メモ: お使いのシステムをアップグレードするには、**dell.com/support** から最新の BIOS、ドライバ、およびシステム管理ファームウェアをダウンロードし、システムにインストールすることをお勧めします。

テクニカルサポートの利用法


本書で説明している手順がよくわからない場合や、システムの動作が予期したとおりでない場合は、お使いのシステムの『オーナーズマニュアル』を参照してください。デルでは包括的なハードウェアトレーニングと認定制度をご用意しております。詳細については、dell.com/training を参照してください。地域によっては、このサービスをご利用いただけない場合もあります。

仕様

 **メモ:** 次の仕様には、システムの出荷に際し、法により提示が定められている項目のみを記載していません。お使いのシステムの仕様を記載した完全な最新リストについては dell.com/support をご覧ください。

電源

AC 電源ユニット

ワット数	250 W
熱消費	最大 1040 BTU/時
 メモ: 熱消費は電源装置のワット数定格に基づいて算出したものです。	
電圧	100~240 V AC、自動範囲設定、50/60 Hz、4.0~2.0 A
最大突入電流	55 A


バッテリー

コイン型電池	3.0 V CR2032 コイン型リチウムバッテリー
--------	----------------------------

物理的仕様

高さ	4.24 cm (1.67 インチ)
幅	43.4 cm (17.09 インチ)
奥行き	39.37 cm (15.5 インチ)
最大構成重量	7.7 kg (16.97 ポンド)
空の構成での重量	4.55 kg (10.03 ポンド)


環境

 **メモ:** 特定のシステム構成でのその他の環境条件の詳細については、dell.com/environmental_datasheets を参照してください。

温度

稼働時	1 時間当たり最大 10 °C の温度変化で 10~35 °C (50~95 °F)
-----	--

環境

 **メモ:** 高度が 950 m (3,117 フィート) を超えると、動作時の許容最大温度は、300 m ごとに 1°C (547 フィートごとに 1°F) ずつ低下します。

保管時 1 時間当たり最大 20 °C の温度変化で -40 ~ 65 °C (-40 ~ 149 °F)。

相対湿度

稼働時 最大露点 29 °C (84.2 °F) で 10~80% の相対湿度 (RH)。

保管時 最大露点 33 °C (91 °F) で 5~95% の相対湿度。空気は常に非結露状態であること。

最大振動

稼働時 0.26 G_{rms} (5~350 Hz) で 15 分間 (全稼働方向)

非動作時 1.88 G_{rms} (10~500 Hz) で 15 分間 (全 6 面で検証済)

最大衝撃


稼働時 稼働方向で 2.6 ミリ秒間の 31 G の 1 衝撃パルス (システムの各面に対して 1 パルス)

非動作時 x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス (システムの各面に対して 1 パルス)、2 ミリ秒以下で 71 G。

x、y、z 軸の正および負方向に、270 インチ / 秒 (686 cm / 秒) の速度変化で、32 G フェアードスクエアパルス波の 6 連続衝撃パルス (システムの各面に対して 1 パルス)

高度

稼働時 -16~3048 m (10,000 フィート)


 **メモ:** 高度が 950 m (3,117 フィート) を超えると、動作時の許容最大温度は、300 m ごとに 1°C (547 フィートごとに 1°F) ずつ低下します。

保管時 -15.2~12,000 m (-50~39,370 フィート)

空気汚染物質レベル



クラス G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

粒子汚染


 **メモ:** 本項では、粒子汚染およびガス汚染による IT 装置の損傷および / または故障を避けるために役立つ制限を定義します。粒子またはガス汚染のレベルが下記に指定される制限を越えており、これらがお使いの装置の損傷および / または故障の原因であると判断された場合、損傷および / または故障の原因となっている環境状態を改善する必要が生じる場合があります。環境状態の改善は、お客様の責任となります。

空気清浄


環境

-  **メモ:** データセンター環境のみに該当します。空気清浄要件は、事務所や工場現場などのデータセンター外での使用のために設計された IT 装置には適用されません。
- データセンターの空気清浄レベルは、ISO 14644-1 の ISO クラス 8 の定義に準じて、95% 上限信頼限界です。
-  **メモ:** データセンターに吸入される空気は、MERV11 または MERV13 フィルタで濾過する必要があります。


伝導性ダスト 空気中に伝導性ダスト、亜鉛ウイスカ、またはその他伝導性粒子が存在しないようにする必要があります。

-  **メモ:** データセンターおよびデータセンター外環境の両方に該当します。

腐食性ダスト

-  **メモ:** データセンターおよびデータセンター外環境の両方に該当します。
- 空気中に腐食性ダストが存在しないようにする必要があります。
 - 空気中の残留ダストは、潮解点が相対湿度 60% 未満である必要があります。

ガス状汚染物

-  **メモ:** ≤50% 相対湿度で測定された最大腐食汚染レベル

銅クーポン腐食度 クラス G1 (ANSI/ISA71.04-1985 の定義による) に準じ、ひと月あたり 300 Å 未満。

銀クーポン腐食度 AHSRAE TC9.9 の定義に準じ、ひと月あたり 200 Å 未満。